1 一年生の かん字の 書きとり ①

月 日

◎ □に あてはまる かん字を 書きましょう。

❶ シャベルで にわの 土を ほる。
❷ いろいろな 形を した 石。
❸ 海で 貝がらを ひろう。
❹ 草むらから 虫の 声が 聞こえる。
❺ 林の 中に つづく 道。
❻ 大きな 森に かこまれた みずうみ。
❼ ぼくが すんで いる 町の となりの 村。

イーマル

ミルマリ

2 一年生の かん字の 読み ①

月 日

◎ ――の かん字の 読みがなを ひらがなで 書きましょう。

❶ 新しい 年が はじまる。 〔 とし 〕
❷ 四月から、ぼくは 二年生に なった。 〔 しがつ 〕〔 にねんせい 〕
❸ 休日は、ぜんぶ 合わせて 三日間 ある。 〔 きゅうじつ 〕〔 みっか 〕
❹ 早朝から さん歩に 出かける。 〔 そう 〕
❺ 雨が やんだら、空に 天の川が 見えた。 〔 あめ 〕〔 あま 〕
❻ 春の 気はいを かんじる。 〔 け 〕
❼ 雨天でも サッカー大会を 行います。 〔 うてん 〕

イワンコ

3 丸（。）と 点（、）の つかい方

月 日

1 つぎの 文の □に 丸（。）か 点（、）を 入れて、正しい 文しょうに しましょう。

新しい クラスの たんにんの 先生は □ いつも にこにこして いて □ とても やさしいです。 □ だから、わたしは □ 先生が 大すきです。 □

2 つぎの 文が 読みやすく なるように 点（、）を 一つ 入れましょう。

❶ ともだちと サッカーを するのは、とても 楽しい。
❷ 紙に 書いて、かん字の れんしゅうを する。
❸ 天気が よいので、公園へ 花見に 行きます。

4 丸（。）、点（、）、かぎ（「 」）

月 日

◎ つぎの 文の 中から、丸（。）、点（、）、かぎ（「 」）の つかい方が まちがって いる ところを 見つけて、正しく なおして 書きましょう。

イーマルが一人であそんでいると、ミルマリとイワンコがやってきました。ミルマリが、「いっしょにあそぼう。とさそってくれました。イーマルはうれしくなって、「うん。いっしょにあそぼう。」と答えました。

※答えを 書く 時には、かん字の 読みがなは 書かなくても いいです。

イ	ー	マ	ル	が	一	人	で	あ	そ	ん	で	い	る	と、	ミ	ル	マ	リ	と
イ	ワ	ン	コ	が	や	っ	て	き	ま	し	た。	ミ	ル	マ	リ	が、			
「	い	っ	し	ょ	に	あ	そ	ぼ	う	」。									
と	さ	そ	っ	て	く	れ	ま	し	た。	イ	ー	マ	ル	は	う	れ	し	く	
な	っ	て、	「	う	ん。	い	っ	し	ょ	に	あ	そ	ぼ	う	」。				
と	答	え	ま	し	た。														

5 一年生の かん字の 書きとり ②

月 日

◎ □に あてはまる かん字を 書きましょう。

❶ 町の 人口が ふえる。
❷ 今月の 目ひょうを きめる。
❸ ぞうの 耳は 大きい。
❹ バスの うんてん手に なりたい。
❺ お兄さんは、足が とても はやい。
❻ かさを げんかんに 立てて おく。
❼ みんなで 力を 合わせよう。

6 一年生の かん字の 読み ②

月 日

◎ ――の かん字の 読みがなを ひらがなで 書きましょう。

❶ 火山が もくもくと けむりを 上げる。 〔 かざん 〕
❷ 田うえの じゅんびを する。 〔 た 〕
❸ 空の はこに、ジュースの 空きびんを 入れる。 〔 から 〕〔 あ 〕
❹ 花だんに たねを まく。 〔 か 〕
❺ 竹林が 風で ゆれて いる。 〔 ちく 〕
❻ にわの ざっ草を とる。 〔 そう 〕
❼ すずしい 木かげで ひと休みする。 〔 こ 〕

7 一年生の かん字の 書きとり ③

月 日

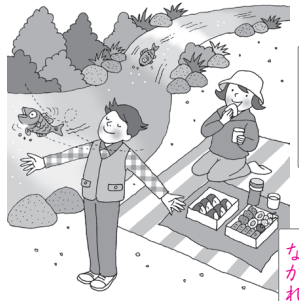
◎ □に あてはまる かん字を 書きましょう。

❶ ないしょ話に 聞き耳を 立てる。
❷ ねこの 手も かりたいほど いそがしい。
❸ ぼくは 足し算が とくいだ。
❹ まつりで、たいへんな 人出だ。
❺ にわに 草花を うえる。
❻ お父さんと 竹とんぼを 作る。
❼ 木がらしが ふく きせつ。

8 主語と じゅつ語

月 日

◎ 絵を 見て、□に 入る じゅつ語を ［ ］の 中から えらんで 書きましょう。

❶ 風が すずしい。
❷ 川の 水が ながれる。
❸ 魚が およぐ。
❹ おべんとうが おいしそうだ。

［ およぐ　すずしい　ながれる　おいしそうだ ］